

達成状況評価書(平成26年度)

部局名:理学研究科・理学部

項 目	コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	<p>【年度計画の達成状況】 平成26年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成26年度は、大学院課程において、多様な進路に対応した学生の能力開発のためのプログラムとして、6つのサブプログラム群からなる「高度博士人材養成プログラム」を新たにスタートさせ、6つのプログラムのうち国際教育を推進するためのサブプログラムである「グローバル化プログラム」を開始したほか、新たに部局独自のキャリア支援室を設置し進路・就職支援を強化するなど、積極的に取り組んでおり、大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	<p>【年度計画の達成状況】 平成26年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成26年度は、所属教員による革新的超分子材料の創製とその機能評価に関する研究が科学技術分野の文部科学大臣表彰若手科学者賞を受賞するなど、成果が上がっている。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~17)	<p>(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流</p> <p>【年度計画の達成状況】 平成26年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成26年度は、国際交流支援として、留学生相談室の新規開設、専任の事務補佐員の雇用、国際交流サロンの整備及び活用開始、留学生個別面談の開催を行うなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 18~30)	<p>【年度計画の達成状況】 平成26年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成26年度は、理学研究科に何らかの形で関係した人たちを対象とした「理学友倶楽部」を立ち上げ、卒業生だけでなく関係者を広く含めたコミュニティの形成を開始し、社会との関係作りを進めるなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況	<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成26年度は、大学院学生を対象とした高度博士人材養成プログラムの実施、部局独自のキャリア支援室の設置、理学研究科に何らかの形で関係した人たちを対象とした「理学友倶楽部」の立ち上げなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>